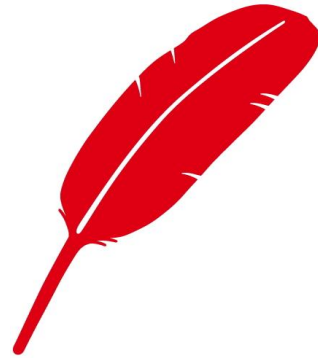


南風原町共同募金委員会 の活動について



南風原町共同募金委員会
©中央共同募金会

南風原町共同募金委員会 島袋康史

南風原町の概要



唯一海に面していない町

沖縄本島南部のほぼ中央に位置し、県都那覇市に隣接しています。南風原町は6つの市町に囲まれ、県内では唯一海に面していない町。面積は10.72 km²と県内41市町村の中で4番目に小さな町です。

近年は、沖縄自動車道や那覇空港自動車道などの交通網の進展、大型店舗や遊戯施設など商業施設の進出による生活の利便性の向上により、令和2年4月には人口40,000人を突破しました。

(R4/7/31現在)

人口 40,488人
世帯数 16,345世帯
高齢化率 19.4%

(R2/10/31現在)



はえるん (南風原町イメージキャラクター)

行政区 (自治会) 20自治会

保育施設 32園
・公立保育所 1所
・認可園 22園
・認可外園 9園

幼稚園 5園 (町立4園、認定こども園1園)
小学校 4校
中学校 3校 (町立2校、県立1校)
高校 2校

※沖縄盲学校、高等支援学校も町内にあります

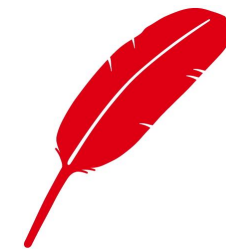
小地域福祉ネットワーク組織 (高齢者サロン) 16ヶ所
子育てサロン 6ヶ所 (コロナ禍で5ヶ所休み)

令和3年度 赤い羽根募金運動実績

(令和4年3月31日現在) 【単位 円】

種別	目標額	実績額	件数	達成率
戸別	1,891,000	2,061,500	4,123	109.0%
職域	870,000	921,008	57	114.6%
事業所 (法人・個人大口)	2,200,000	2,266,445	468	106.8%
学校	280,000	320,659	6	114.5%
店頭	296,000	321,841	5	108.7%
県共募扱い		183,342	6	
その他		477,626	38	
合計 (R3)	5,537,000	6,552,421	4,703	118.3%

合計 (R2)	5,526,000	6,363,729	4,520	115.2%
合計 (R元)	5,649,000	6,557,554	4,516	116.1%



コロナ禍でも店頭募金、事業所募金を継続実施

	目標額	実績額	件数	達成率
令和元年度	5,649,000	6,557,554	4,516	116.1%
令和2年度	5,526,000	6,363,729	4,520	115.2%
令和3年度	5,537,000	6,552,421	4,703	118.3%

・中央共募、県共募が作成したガイドライン、取組指針を参考に感染防止を徹底

・事業所募金： 例年3回を2回→3回目は電話連絡（OKで訪問）

・店頭募金： 音訳ボランティアで呼びかけCDを作成
大声で呼びかけしない。一度に大勢立たない（時間配分）

※令和3年度 件数が180件増 → 戸別募金がUP（自治会長の頑張り）

※事業所募金 振込が増えた。また、訪問すると激励の声掛けをいただいた
（例年になく奉仕員が笑顔で帰ってきました。）



← 事業所まわり奉仕員1日目54人
2日目44人



店頭募金 サンエーつかざん



← 学校募金：津嘉山小

令和3年度 歳末たすけあい運動実績

目標額 1,900,000円 実績額 1,797,281円 達成率 94.6%

種別	実績額	備考
戸別	839,301	4,198世帯
職域	542,195	33件
事業所	20,000	2件
イベント	0	チャリティークリスマス
その他	395,785	13件
小計	1,797,281	
前年度繰越金	320,602	
合計	2,117,883	

激励金として世帯配分 153世帯 1,342,000円	
友愛訪問（お弁当） 21人 23,870円	
合計	1,365,870円
繰越金 752,013円	

課題：
事業としての取り組みが弱い

目標額：1,900,000	実績額	達成率	要因
平成30年度	1,907,582	100.3%	
令和元年度	1,616,186	85.1%	職域10万減、イベント20万減
令和2年度	1,565,500	82.4%	職域15万減、イベント
令和3年度	1,797,281	94.6%	職域20万減、その他25万増、イベント

➤課題点

たくさんありますが、本日は2点だけ

1 戸別募金の減少と自治会加入促進

2 企業との連携（協働事業の企画）

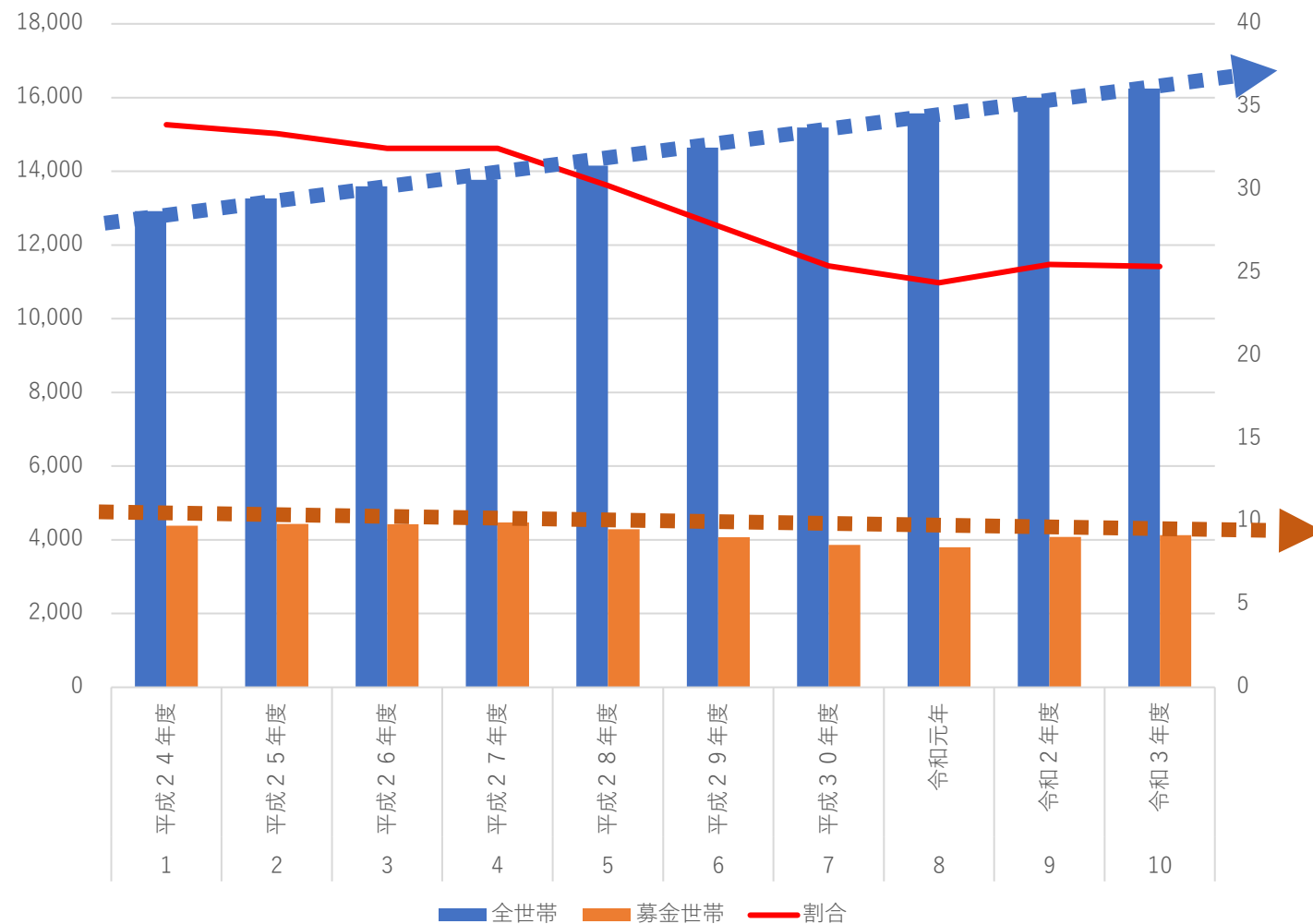
3 配分金の使途計画のマンネリ化

4 歳末たすけあい募金のあり方（赤い羽根募金との区別化）

5 運営委員会の強化（社協理事兼務の見直し）



課題1 戸別募金の減少と自治会加入促進



	全世帯	戸別募金	割合
1 平成24年度	12,917	4,380	33.9
2 平成25年度	13,266	4,429	33.4
3 平成26年度	13,595	4,418	32.5
4 平成27年度	13,770	4,473	32.5
5 平成28年度	14,154	4,282	30.3
6 平成29年度	14,638	4,071	27.8
7 平成30年度	15,184	3,858	25.4
8 令和元年	15,569	3,796	24.4
9 令和2年度	15,999	4,078	25.5
10 令和3年度	16,248	4,123	25.4

H24→R3

+3, 331

△257

△8.5

自治会の加入率を高めることは、戸別募金を高めることにつながる。

戸別募金は集めることを目的としていないか。自治会長任せにしている。これでいいのか？

担当者だけでなく全職員が意識してこれまで以上に地域に入り込み働きかける必要がある。

“地域福祉コミュニティづくり”を通して福祉力を高めれば、募金も高まると私は思っています。

課題2 企業との連携（協働事業の企画）

**企業は社会貢献活動を求めています。
社協がマッチングできるかどうかです。**



R4/7/11 商工会青年部との
地域貢献活動に関する連絡会

連絡会で協議した内容

- ・ 社内募金運動
- ・ 地域での見守り活動
- ・ フードドライブ運動
- ・ 感染世帯への食料の提供（配達）
- ・ 会社敷地内の寄附金付き自動販売機の設置

**商工会青年部（現在49人）と社協がLINEで
つながり、スピード感ある連携を実現**

会社敷地内の寄附金付き自動販売機の設置



写真は公園内に設置した自動販売機

現在3台設置（町内公園3ヶ所）

赤い羽根募金として 年間（20万円）

・安定的な収入源となっています。

町内企業が寄附金付き自動販売機を設置すると

・さらに安定的な収入が見込まれる。

使用計画（案）

社会的孤立対策（子ども食堂の運営など安定的な財源が確保できる）

子ども食堂が社員食堂などで実施できないか企業とも調整したい。

最後に

新型コロナウイルス感染症の流行で企業訪問や募金活動を自粛せざるを得ない状況もあると思いますが、こんな時だからこそ地域の支え合い、助けあいが重要となります。

必要な世帯に必要な福祉サービスを届ける。だから共同募金運動が必要である。このことを念頭に配分金を活用し社協活動を続けていきたいと思っています。



ご清聴ありがとうございます。